

「耐震化調査結果について」

①耐震化調査結果

- ・ 現庁舎の改修に係る総額は、3,792,110千円という試算となった。
主な費用は、耐震補強工事費、仮設工事費、外装改修費、冬期施工費、老朽化改修工事費。
(内訳は、2ページの通り)
- ・ 仮設工事費については、工事中は現庁舎で業務を継続することができないことから、仮設庁舎を用意し、全職員が移動することが必要になるが、仮庁舎建設費用は、1,119,000千円かかる試算となった。(仮設庁舎建設費用、仮設用システム構築関係費、仮設用什器費)

【仮庁舎建設費用が高額となる理由】
 - ・ 仮設であっても行政を推進するシステムの構築費用や什器が必要。
 - ・ 行政推進上のシステムやJアラート用アンテナなどは、都合上、仮設での移転設置が不可能なために、旧当別小学校など現在使用していない町有の建物の利用ができないことから、仮設庁舎を現庁舎敷地内に建設しないとならないため。
- ・ 冬期間施工費については、工期が20ヵ月かかるため、必要となる。
- ・ 老朽化改修工事については、内外装、防水、窓、トイレ、バリアフリー、電気設備、給排水管設備、冷暖房設備、空調換気設備の全面改修が必要。
- ・ 補強工事を行った後も柱などコンクリートの老朽化は進行していくことから、延命しても改修後概ね10年間の使用しかできない。

②耐震補強費について

【耐震補強工事及び老朽化改修工事】

(千円)

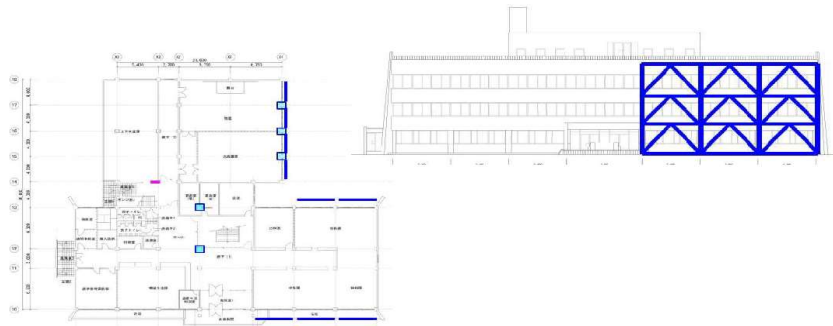
耐震補強工事		946,000
仮設工事	仮設庁舎建設	759,000
	仮設用システム構築関係費	200,000
	仮設用什器費	160,000
外装改修費		33,000
冬期施工費		55,000
老朽化改修工事費		1,639,110
合計		3,792,110

【耐震補強工事及び老朽化改修工事概要】

耐震補強工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現庁舎の外周に外付け鉄骨ブレース補強を行う。 ・ 外付け鉄骨ブレース直下には杭を新設する。 ・ 工事期間中は仮設庁舎に全職員移動する。 ・ 工期は20ヶ月。 ・ (PH階)RC増設壁：1 箇所 ・ (3階)外付け鉄骨ブレース：4 箇所 ・ (2階)外付け鉄骨ブレース：6 箇所 ・ (1階)外付け鉄骨ブレース：10 箇所 ・ RC増設壁：1 箇所 ・ 下階壁抜柱補強：5 箇所 ・ (基礎)新設杭：24本
老朽化改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外壁の全面改修（断熱改修含む）を行う。 ・ 屋上防水の全面改修（断熱改修含む）を行う。 ・ 天井、床、壁の全面改修を行う。 ・ 窓（断熱窓）の全面改修を行う。 ・ 高架水槽を更新する。 ・ 受変電設備を更新する。 ・ 屋外らせん階段を更新する。 ・ 屋外煙突を改修する。 ・ 議場天井の補強を行う。 ・ 各配管の改修を行う。 ・ 現スチーム暖房を空調式暖房に改修する。 ・ 屋内エレベーターの設置を行う。 ・ 全ての階のトイレは和式から洋式に改修し、1 階に多目的トイレを設置する。 ・ 空調換気設備の改修を行う。 ・ 冷房設備の設置を行う。 ・ 非常用電源設備の設置を行う。 ・ 0A室の拡張改修を行う。

③耐震補強工事について

【補強概要及びイメージ図】



- ・既存建物の外周フレームに外付け鉄骨ブレース補強を行う
- ・外付け鉄骨ブレース直下には杭を新設する



④外観デザインについて

【耐震改修・外装改修による外観イメージ】



耐震改修補強まのイメージ(正対)



耐震改修補強まのイメージ(斜め)

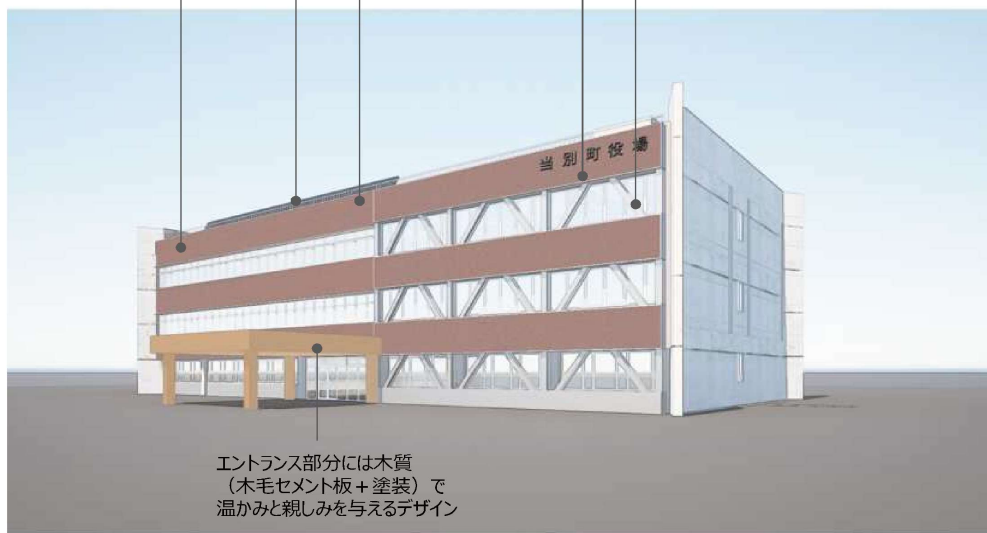
「当別らしさ」の感じるテーマカラーによる外壁改修

太陽光パネルの導入により、
環境への取り組みの姿勢の
模範となる庁舎

ブレース接合部を隠すためのふかし壁は、
南面の日射抑制にも寄与する

外断熱改修によるふかし壁は、
南面の日射抑制にも寄与する

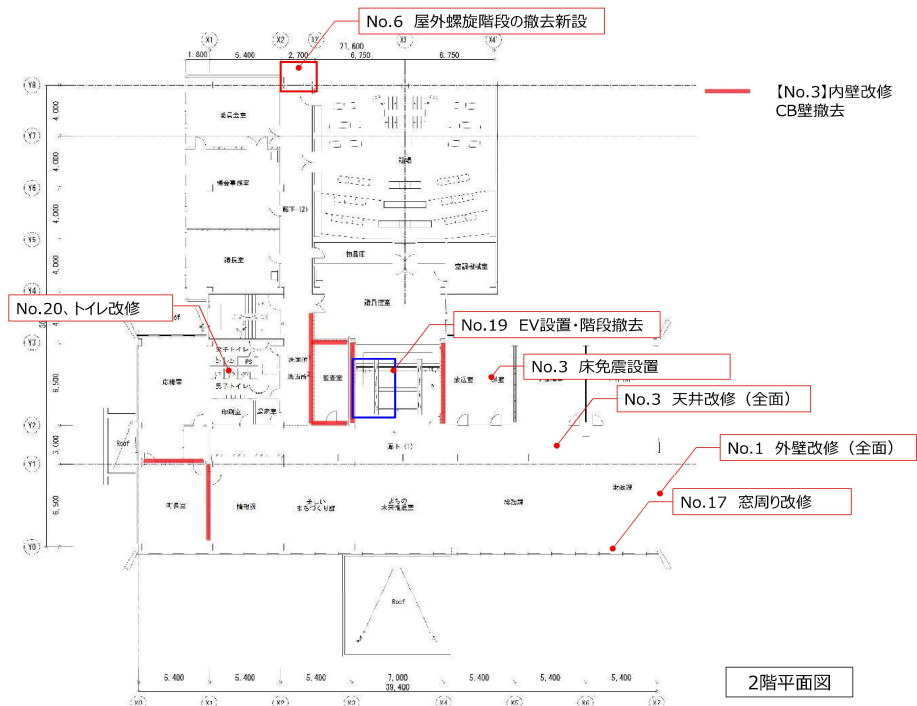
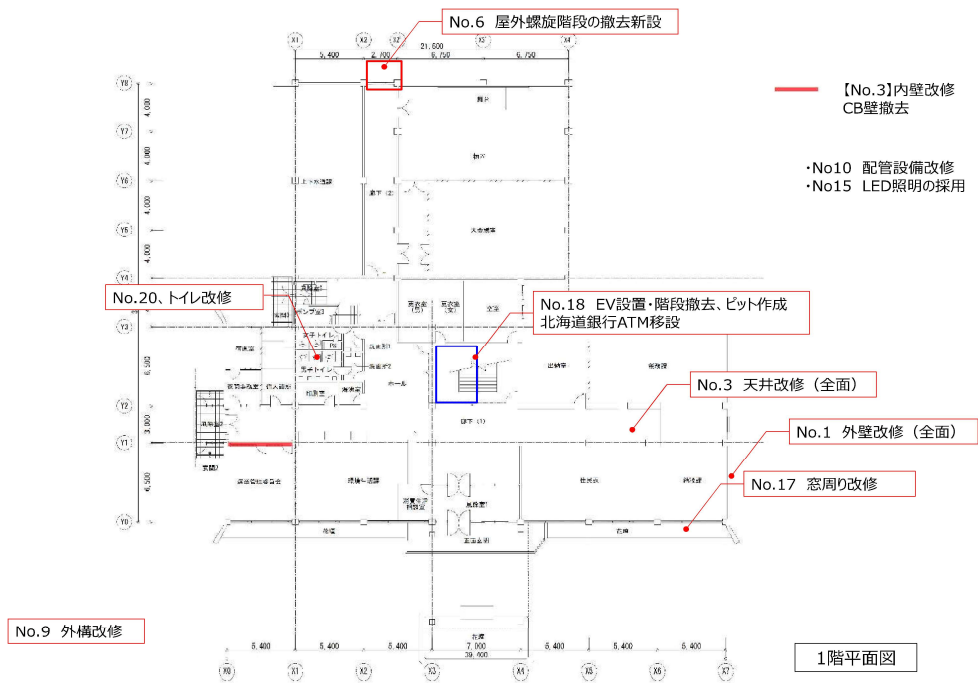
ブレース接合部のみを隠し、
ブレース自体はあえて見せることで
安心・安全な庁舎を視覚的に表現

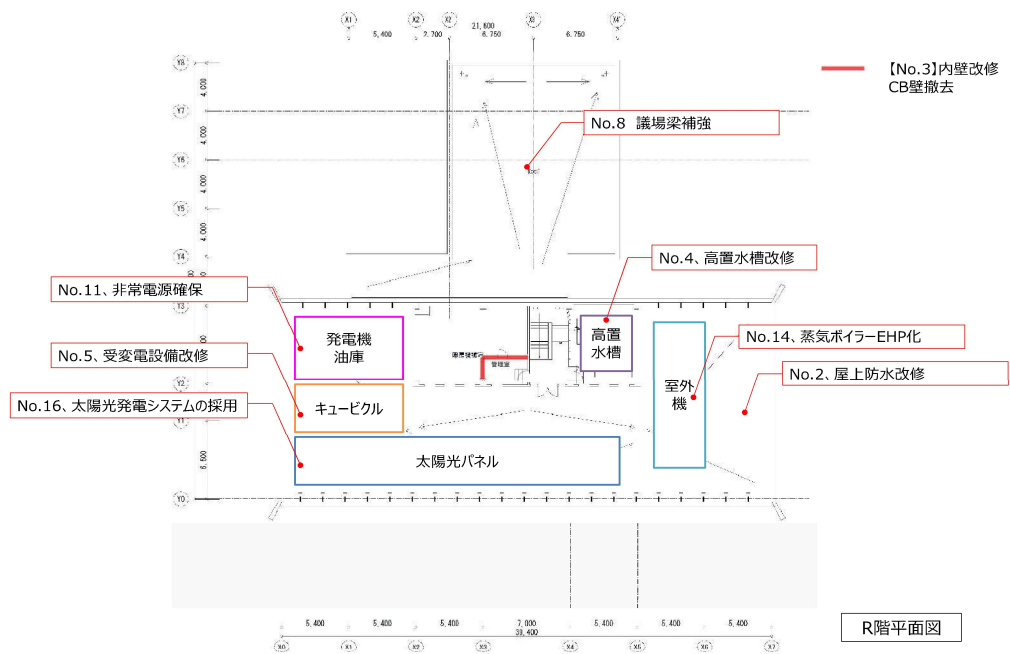
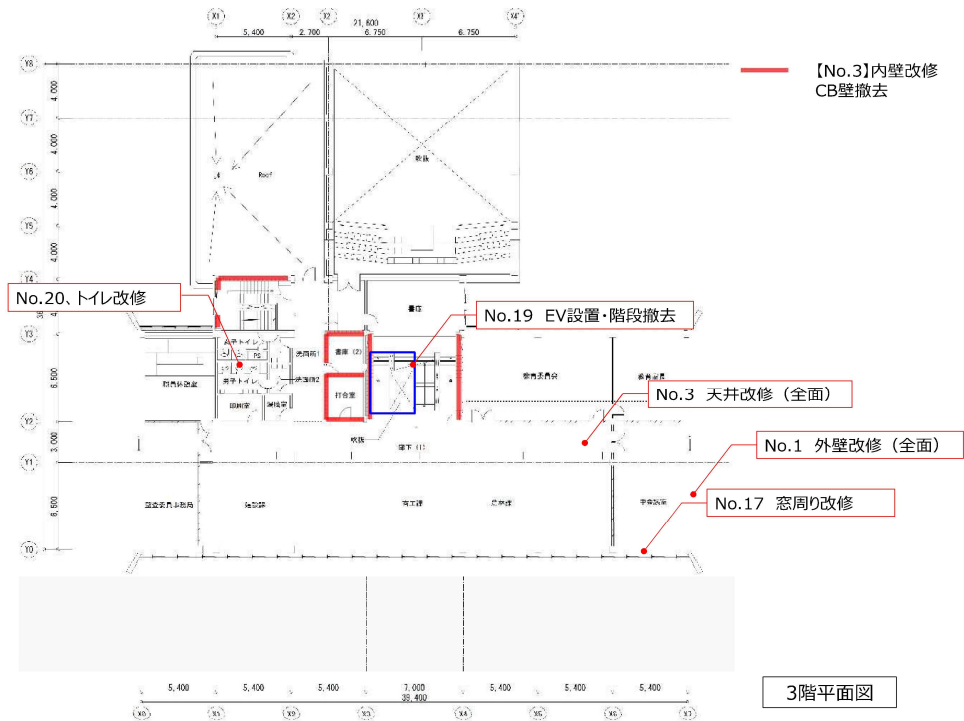


エントランス部分には木質
(木毛セメント板+塗装)で
温かみと親しみを与えるデザイン

⑤老朽化改修工事について

【各階改修平面図】





【トイレ改修詳細平面図】

